

受賞者のコメント

最終日、会場で賞状を授与される尾花智子さん（右）

●チーム・コヤール賞

尾花智子「母と子と空と地」

コヤールの第1回公募展で、また、80点を越す力作のなかでこんなに大きな賞をいただき、本当に驚いています。ありがとうございました。時々アフリカの子供たちの人形を作りますが、私はアフリカの人たちのなかに大きな自然を感じて不思議とイメージがわいてきます。その中で今回母と子が寄り添い慈しむ姿が表せたら良いなと思いました。また来年も公募展を検討しているとのこと、人形製作者にとっては発表の場であり、勉強の場であり、力をいただける場です。できたら続けて欲しいと思います。

四谷シモン先生、コヤールのスタッフの皆さん、お手伝いをされたボランティアの方々、素敵な展をありがとうございました。

●四谷シモン賞

角松千恵子「セミヨム」

セミヨムは、私の夢に出てきた一ツ目の鬼です。

私が腕のない灰色男にこん棒でぶたれている時に、どこからともなく現れました。

私は「ユメヲカタチニスル」という会を開いた時、この鬼を作りました。それ以来、どこへでも、セミヨムを連れて行きました。

私はオモチャが好きです。豆本や、刺繍のボタン、小さなポケットなども作っています。

役には立ちませんが、現実離れを共に楽しむ友人のように思っています。みんな、かわいいです。

憧れのお兄さんであるシモンさんにセミヨムをお目に留めて頂けて、とても嬉しく思いました。この賞は宝物で、かけがえのないご褒美です。

●DOLLS OF THE WORLD 賞

皆川優子「夜会からの招待状」

この度は思いがけず賞を頂きありがとうございました。独学で制作をはじめ十数年が経ちひたすら手探りでまいりましたが今回、何か暗闇で手を引いて頂いた気がしました。スタッフの皆様にもお世話になり感謝しています。

●URAL DOLL ARTISTS ASSOCIATION 賞

長谷川裕子「冬の子供」

国も言葉も違う方が、私の人形に心を留めて頂いた事に驚き、とても嬉しく励まされました。

「誰の心の奥にもあるような、子供の頃のせつなさを人形に重ねたい」と思っています。

これからも、じっくりと自分に問いかけながら原点にある想いを大切に制作に励んでいきたいと思っています。

素敵な賞を頂いた事に心から感謝しています。

●コヤール・フェス賞

柴崎弘子「無題」

今回はチーム・コヤール展に参加する事が出来たうえ、思いもよらずコヤール・フェス賞を頂き光栄に思います。

投票頂いた皆様の直接的な感想を拝見し、本当に嬉しく励みになりました。

新たな気持ちで制作を続けられそうです。有難うございました。

※創作人形公募展の展示作品は、チーム・コヤールのウェブサイトで、ウェブ図録として発表させて頂く予定です。

個性派ベテラン人形作家による気楽な小物展示

人形作家4人がおりなすギフト展

釜谷ピョンネ・くら田たまえ・山口景子・岡田好永

12月1日（土）～12月9日（日）

10am～6pm（最終日5pmまで）月曜休廊

あーとさろん宮崎

630-8301 奈良県奈良市高畑町812

TEL 0742-23-2588

URL <http://www1.kcn.ne.jp/~art-miya/>

小さなギャラリーで陶芸小物、袋物、アクセサリーなど出品予定

コヤール・クラブ入会条件

入会金なし 年会費：2000円（更新時に2年分一括払いの方は3900円となります。）
年4回（1・4・7・10月）のチーム・コヤールのニュースレターとDM便が届きます。

お申し込み方法

年会費2000円を以下の方法でご送金ください。

【郵便振替】 通信欄に「コヤール入会」とお書きください。

送金先 「口座番号」 00140-7-358370 「口座名」 チーム・コヤール

※ご入金を確認できたらチーム・コヤールよりハガキで受領証と会員証を兼ねたお知らせをお送りし、次の号から「コヤール通信」をお送りします。更新時には、有効期限内の最後の号を発行するときに、更新のお知らせを同封いたします。

DM同封希望の方（発行月から3ヶ月の間に展覧会を予定されている方）

事前に枚数などお問い合わせの上お申し込みください。同封DMは発行月の前月20日にチーム・コヤール必着でお送りください。

同封料金 コヤール・クラブ会員：2000円 一般（非会員）：3000円

紙上展応募の方

会員の方の人形の自作品の写真を受け付けております。

12号×切 2012年12月10日（必着）

以下を下記まで、郵送かメールでお送りください。

作品写真2～3点（全体・アップ・裸形） サイズ：ハガキ大。
「会員番号」「作家名」「タイトル」「素材」「サイズ」他、簡単なコメントなど。
※何点でも応募できますが、誌面の都合上掲載はお一人1点になります。
※応募作品はウェブ上で公開されることもあります。（講評は紙面のみ掲載）
※応募書類は返却いたしません。

個人情報について

頂いた個人情報はチーム・コヤールの業務委託を受ける HAZEKI office が厳重に管理します。名簿はチーム・コヤールのニュースレター発送に使用させていただく他、チーム・コヤールの趣旨に沿ってDMクラブ会員にとって有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用せず、チーム・コヤール以外の第三者が閲覧、使用することは一切ありません。

各お申し込み・連絡先

チーム・コヤール
東京都東村山市久米川町3-27-57 HAZEKI office 内
TEL 042-395-7547（担当 ハゼキ）
FAX 042-395-7975
URL <http://www.ab.auone-net.jp/~koyaala/>
Email team_koyaala@yahoo.co.jp

KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ（HAZEKI office）

©KOYAALA TSUSHIN 2010, printed in Japan 本誌記載の記事・写真の無断使用・転載を禁じます。



KOYAALA 通信 No.11

Oct. 1
2012



「KOYAALA 通信」は、チーム・コヤールがコヤール・クラブ会員に発行するニュース・レターです。年4回発行 発行日（予定） 4月1日、7月1日、10月1日、1月1日

第1回 創作人形公募展レポート

9月11日～16日 NHK ふれあいホールギャラリー（東京・渋谷）

チーム・コヤールが創作人形公募展をするのは、初めてのことです。

当初はささやかな企画でしたが、3月から募集を始めたところ、初心者からプロとして活躍するベテランの方々にいたるまで広い層の方が応募されました。

100人近い応募者から写真で86名の方が予備審査を通過、9月の実作品の展示に進みました（1名の方は都合により出品辞退で、実際の展示数は85点）。素材、技法は陶、布、粘土、樹脂、関節、オブジェなど現在の創作人形で使われているものが網羅され、テーマも様々。会場を訪れた一般参観者の方々にはバラエティ豊かな人形の展示として映り、喜ばれていました。

審査方法は別ページに記載しましたが、実作品は写真の印象を上回っているものが多く、写真審査の限界を感じました。さらに、数年前迄は技術的に際立っている作品はそれだけで目立ったのですが、今は多くの作者が修得しうる技術的なレベルに達し、「うまさ」だけではアピールできないのが現状です。技術を極めた後は、好きか嫌いかという主観に頼る話になりかねないのですが、この審査では「魅力的かどうか」という点がポイントでした。魅力は客観的に討議しうるものです。人形本来の性質も重要です。

チーム・コヤール賞を受賞された尾花智子さんの「母と子と空と地」は、チーム・コヤールも四谷シモン氏も写真を見たときから着目していましたが、実作品も期待に違わず、四谷氏は「黒人の表情がいい」「なにか、ふわっと醸し出してるものがある」と、特にこの作品を強く推されました。静かな存在感を放つこの作品に、全員一致で賞が決定しました。

四谷シモン賞は角松千恵子さんの「セミヨム」に。小さくて素朴な形に「なぜこれがシモン賞？」と疑問を投げかける来場者の方もありました。しかし、コヤール通信10号の氏のインタビューにあるように、今の人形には遊び心が大切という考え方で、「人形は偉くなっちゃいけない。これはいいね」と、この作品を選ばれてました。

ロシアのDolls of the World財団と、ウラル創作人形作家協会による賞はデータを元に審査されました。こちらから送ったのは写真と素材、サイズのみ。それだけの情報でそれぞれの機関が独自に選考した結果、皆川優子さんの「夜会からの招待状」、長谷川裕子さんの「冬の子供」に各賞が贈られました（受賞理由は中頁掲載）。

人形はアイデアだけでもだめ、デザイン力や技術力だけでもだめ、素材を生かす技術力と塊としての存在感を制御する観察力、ファンタジーを扱う遊び心が必要です。さらに魅力的であるためには、品性も必要です。

洗練された遊び心というのは、作者の

制作に対する真面目さや、何にでも

面白味を見いだせる感性のような

ものに由来するように思います。

その人の味が人形には現れてくる

のです。

チーム・コヤールは、面白いもの、

ワクワクさせてくれるものに会いたくて、活動を続けています。

つまり、ひいてはそういう人を探したい、会いたい、ということかも

しれません。

今までも、そうやって面白い

人達との出会いを重ねて

きました。

そしてその出会い

を核に、これからも

面白い輪がさらに

広がっていくことを

願っています。

応募された皆様、

ご来場頂いた皆様、

四谷シモン様、

関係者の皆様、

この企画を見守って

くださった皆様に

心から感謝申し

上げます。

チーム・コヤール

一同

（文責／

羽関チエコ）



各受賞作品と投票結果



1



4



2



5



3



8



6



7

チーム・コヤーラ賞*

尾花智子「母と子と空と地」(石粉粘土 40cm) -1

四谷シモン賞

角松千恵子「セミヨム」(布・紙粘土 13cm) -2

Dolls of the World 賞*

皆川優子「夜会からの招待状」(石粉粘土 45cm) -3

ウラル創作人形作家協会賞*

長谷川裕子「冬の子供」(木・革 52cm) -4

コヤーラ・フェス賞

柴崎弘子「無題」(粘土・布 45cm) -5

ウラル創作人形作家協会リシナ会長賞*

長岡哲生「ジュヴェールの休日」-6

(石粉粘土・和紙 36cm)

*は10月～11月にロシアで展示予定

コヤーラ・フェス賞 会場投票結果

総合投票数 1059 票

上位 10 名

コヤーラ・フェス賞 柴崎弘子「無題」 41 票 -5

次点 deeper-bj「にゃ〜リスト」 40 票 -7

・以下得票順

中村周子「雲々(うんうん)だいびんぐ」-8

chika「苦虫」

摩有「黒鳥—odile」

IWACO「心のしずく」

紅樹時雨「妄想参観日」

長岡哲生「ジュヴェールの休日」

永二「女王様へ…」

西川祥子「しょうこちゃん人形—I am here.—」

※投票は最終日9月16日午後3時に締め切られ、即集計。開催前に結果発表が行われました。

開票された投票用紙は、投票された各出品者の元に届けられました。



①



②



③



④

公募展 day by day

予備審査

送られた写真をもとに、チーム・コヤーラと羽関チエコとの審査会で展示審査に進む作品を決定。

ロシアでの審査

【Dolls of the World 賞】【ウラル創作人形協会賞】

予備審査を通った作品から、さらに賞候補と推すべき作品を各人の視点から20点ずつ推薦。それを総合した作品43点のデータをロシアに送る。送ったデータは各写真のほか、作品番号、素材、サイズのみ。

これらの情報を元に、Dolls of the World 財団、ウラル創作人形協会は、各賞を選定。公平を期すために、チーム・コヤーラからは特定の作品について特に説明したり、推薦することとはなく、あくまでロシア側の選定基準で賞が決定された。審査後、ウラル創作人形協会のエレナ・リシナ会長から個人賞を設けたいと申し出があり、「会長賞」として長岡哲生さんの作品も選ばれる。

Dolls of the World 財団 選考理由

皆川優子 「夜会からの招待状」

「この作品は、現代の流行と日本の人形の伝統的スタイルを融合したものだと思います。この人形は、現代における芸術品としての人形を代表するものです。」

ウラル創作人形作家協会 選考理由

長谷川裕子 「冬の子供」

「この作品は、とてもプロフェッショナルに制作され、かつ個性的なキャラクターを有しているので、私たちはこの作品を選びました。これらのことは、作者が真のアーティストであることを表します。」

展示審査【チーム・コヤーラ賞】【四谷シモン賞】

展示審査に入る前に、四谷シモン氏には全作品の写真をよく見て頂き、おおよその候補を絞りこむ。①

展示審査ではその結果を参考に、四谷氏、チーム・コヤーラ、羽関とともに改めて実物をよく見ることに徹し、全員の話し合いでチーム・コヤーラ賞を決定、また四谷シモン氏個人の賞は氏の独断で選出。②

受賞発表

会場投票の「コヤーラ・フェス賞」以外は、10日の夜、会場そばのパーティ会場で行う。授与式に続き、会場で作品画像を映しながら四谷シモン氏と羽関の講評、引き続き歓談タイムに希望者に個人講評を行う。③

会場投票

コヤーラ・フェス賞のみは会場の参観者の投票によって行う。連日来場者が途絶えることなく、年齢性別を問わずほとんどの人が投票に快く協力、時間をかけて鑑賞して作品を選ばれていました。④